

甲状腺検査を受ける前に

原発事故により放出された放射性ヨウ素の影響で、チェルノブイリの事故の時のように、こどもの甲状腺がんが増えるのではないかと心配されました。こうした不安に応えるために、希望者に対してこの検査が始まりました。原発事故から10年経ちますが、被ばく線量や甲状腺がんの解析が進んで分かることが増えてきました。2021年の3月には、国際機関がそれらについての報告書を出しています。甲状腺検査にはメリット・デメリットがあります。このリーフレットを検査を受けるかどうかを考えるにあたって参考にしてください。

わたしたち ぼくたちの被ばく線量は
どうなっているの？

事故のときに放射性ヨウ素が空気中に放出されたので、放射性物質の量が多いものを食べたり飲んだりしないように、食品の検査をしたり、お店に並ぶのを制限しました。

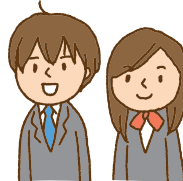


問題なし

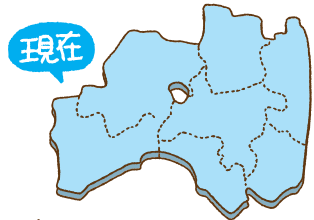


このような取り組みの結果、被ばく線量は少なく抑えられました。

放出された放射性ヨウ素は、時間とともに急速に減って、早くにほとんど消えました。



出典：UNSCEAR2013年報告書
UNSCEAR2020年報告書プレスリリース
放射線による健康影響等に関する統一的な基礎資料、令和元年度版



現在

放射性ヨウ素
ほぼなし



放射線の影響とは考えにくい

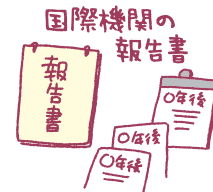
専門家の会議は、検査1回目、2回目に福島県で見つかった甲状腺がんは、放射線の影響とは考えにくいとまとめています。



検査1回目 検査2回目

健康への影響は今後も見られないと予測

最新の国際機関の報告書も、放射線の被ばく線量が少なく抑えられたため、放射線による健康への影響は今後も見られないと予測しています。



出典：UNSCEAR2020年報告書プレスリリース

見つかった甲状腺がんは放射線のせいなの？

なお、甲状腺がんについてはまだ分かっていないことがたくさんあり、さらに研究をしていく必要があります。



これから甲状腺検査を受けるかどうか悩んだら



選べる

甲状腺検査は受ける、受けないを自由に選べる任意のものです。



質問できる

検査について不安なことや聞きたいことがあれば、電話や検査のときなどに聞くことができます。



後で受ける選択肢も

個々人の状況によりですが、今すぐ検査を受けるのではなく、受けたいと考えたときに受ける選択肢もあります。

甲状腺検査について
聞きたい・相談したい
ときは

甲状腺検査に関する
ご質問やご相談窓口

コールセンター 福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センター

024-549-5130 土日・祝日
12/29~1/3を除く
9:00~17:00



メリット・デメリットを含めた
甲状腺検査について詳しく知りたい方は、
福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センターの
ホームページをご覧ください。



ご自身で考え、選択できるように支援します。困ったことがあればいつでもご相談ください。未成年の方は保護者ともご相談してください。